吉　川　の　風

東広島市立吉川小学校
令和６年　２月２２日
№11　校長　田中 辰貴

学校教育目標　**強く　正しく　うるおいのある子供**

≪今月の俳句（２月）≫

キラキラと　ゆきのけっしょう　さいている　（１年　光川　凛）
うぐいすの　なきごえきくよ　春ちかし　（２年　上木　仁）
目がかゆい　鼻もグズグズ　春近し　（３年　信永　龍星）
外あそび　ねらいを定めて　雪がっせん　（４年　宮迫　諒也）
節分で　心の鬼よ　とんでゆけ　（５年　永井　乃愛）
春の海　しずかにゆれて　神秘的　（６年　波多間　早紀）

今年度のまとめの時期となりました

新年が始まり，もう2か月が経とうとしています。今年は例年に比べると暖冬だと言われていますが，やはり寒い日がまだまだ続いています。1月下旬ごろから東広島市内の小中学校では，インフルエンザの流行が始まり，吉川小学校でも罹患者の多かった学年では学年閉鎖をせざるを得ない状況となってしまいました。現在では，インフルエンザも落ち着いた状況となりましたが，コロナも含め感染症対策にはまだまだ油断は禁物です。

さて，令和5年度もいよいよ最後のひと月となりました。各学年とも，学習面・生活面の一年間のまとめの時期を迎えています。しっかりと学年のまとめや進級・進学の準備に取り組んでいきたいと思いますので，引き続き子供たちの健康管理をよろしくお願いいたします。

能登半島地震への募金

令和6年元日の夕方に石川県能登半島沖を震源とする最大震度7を記録した大地震が発生しました。多くの家屋が倒壊し，200名を超える死亡が確認されるなど，甚大な被害が出ています。

この地震の影響で，寒さが厳しい中での避難所での生活に加え，長引く水道の断水や停電などで大変に厳しく不自由な生活を続けられている北陸地方の被災者の方々に，少しでも自分たちにできる支援をするため，児童会が中心となって全校児童に呼びかけ，1月22日（月）から2月2日（金）までの間，募金活動を行いました。

みなさんの温かい気持ちとご協力のおかげで，全部で３８，４０６円というたくさんの募金を集めることができました。

この募金は，被災地の皆様に届け，被災地の一日も早い復旧と復興を願いたいと思います。

みなさんのご協力に，厚く感謝申し上げます。

大谷選手に届けよう　11000人のありがとう

吉川の風１月号でもお伝えしたように，メジャーリーグ，ロスアンジェルス・ドジャースの大谷翔平選手から贈呈された３つの野球グローブは吉川小学校にも届いており，子供たちは学年で順番に，大切にこのグローブを使わせていただいています。

この度，各学校にグローブを贈呈した大谷選手へのお礼の気持ちを伝えるために，東広島市教育委員会からの呼びかけで，「大谷選手にとどけよう　１１０００人のありがとう」という取組を行いました。「１１０００人のありがとう」とは，令和５年度の東広島市内の小学校の児童数が約１１０００人であることからきています。子供たちは一人一人，自分の名前と大谷選手へのお礼のメッセージを書き，それらを寄せ書き風に貼り合わせてＡ３サイズのメッセージカードを作成しました。

各学校が作成したメッセージカードは東広島市教育委員会に集められ，関係機関を通じて，大谷選手のもとへ届けられることになっています。

この取組に参加したことで，「野球しようぜ」という大谷選手のメッセージに応えようとする児童が増えてくるかも知れませんね。

八本松中学校　職場体験学習

２月６日～８日までの３日間，八本松中学校から３人の２年生が職場体験学習に来ました。３人は本校の卒業生ではありませんが，子供が好きで，将来は教師や保育士など子供に関わる仕事に就きたいという夢をもち，吉川小学校に来てくれました。

３日間という短い期間でしたが，ドキドキタイム（体育朝会）で長縄跳びの見本を見せてくれたり，１・２年生の体育の時間には一緒にドッチボールをしてくれたりして，小学生のやる気を引き出してくれました。また，グランドの凸凹を埋めるために真砂土を運ぶ作業にも意欲的に取り組んでくれ，さすが中学生という働きをしてくれました。小学生にとってお手本となる３人の姿でした。

３月行事予定

1	金	6年生ありがとう集会	12	火	クラブ	23	土	
2	土		13	水		24	日	
3	日		14	木		25	月	修了式・離退任式
4	月		15	金	6年修了式	26	火	
5	火		16	土	卒業証書授与式	27	水	
6	水		17	日		28	木	
7	木		18	月	振替休日	29	金	
8	金	PTA新旧役員会	19	火		30	土	
9	土		20	水	春分の日	31	日	
10	日		21	木				
11	月		22	金				